

第1章 塩谷南那須地方の農業の概要

1 位置及び地勢

塩谷南那須地方は県の中東部に位置し、矢板市、さくら市、那須烏山市、塩谷町、高根沢町、那珂川町の3市3町からなり、総面積910km²と県土の14.2%を占めています。

北西部が山岳地帯で矢板市及び塩谷町の一部の地域が日光国立公園に指定されています。北西に箒川が、南西縁部に鬼怒川が流れ、その間を荒川、内川、江川が縦断しており、それらを水源とする豊かな水が肥沃な耕地を潤しており、中西部から南西部にかかるさくら市及び高根沢町は関東平野の北端に位置する平坦な穀倉地帯を形成しています。

中央の南北にかけては、塩那台地の丘陵地でゆるやかな台地が連なっています。

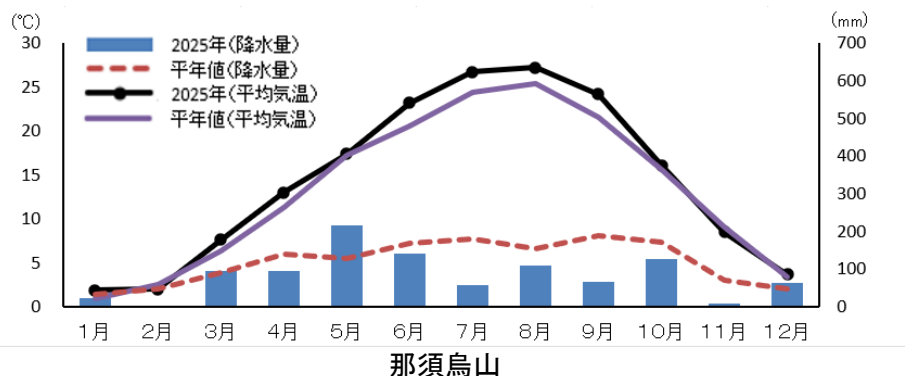
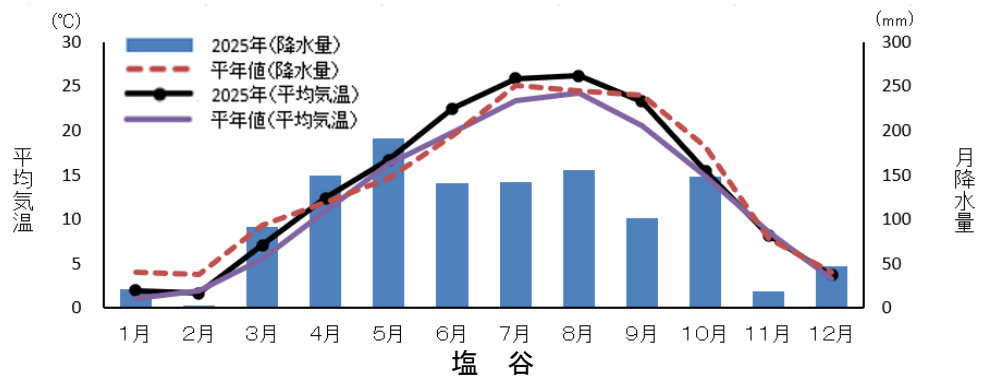
東部は八溝山系の中山間地で、塩那台地を挟んで南流する那珂川に荒川及び武茂川などの中小河川が合流しており、これらの河川に沿って水田等が分布する起伏の多い地勢となっています。

2 気象

気候は東日本の内陸型の特性を有し、夏は高温多湿、冬は乾燥した好天に恵まれ気温は低く、春から秋にかけて、寒冷前線の南下に伴い雷雨・降雹を見ることがあります。

塩谷町（観測地点）の気候は、1991～2020年の30年間平均値では、平均気温12.6℃、年間降水量は約1,671mm、年間日照時間は約1,905時間となっています。令和7（2025）年は、平均気温は約13.8℃、年間降水量は1,214mm、年間日照時間は2,168時間でした。

那須烏山市（観測地点）の気候は、2009～2020年の年間平均値では、平均気温13.2℃、年間降水量は約1,436mm、年間日照時間は約2,087時間となっています。令和7（2025）年は、平均気温は約14.3℃、年間降水量は1,006mm、年間日照時間は約2,211時間でした。



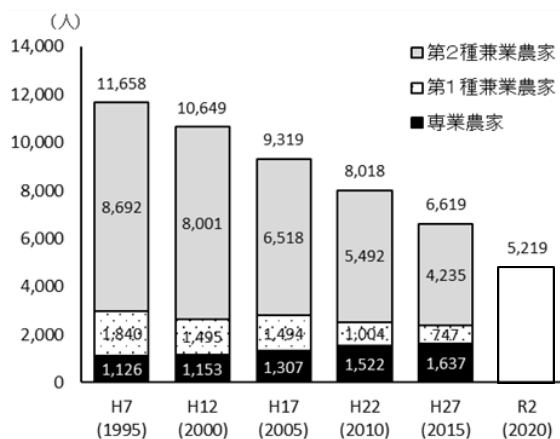
3 農業農村の現状

(1) 農家戸数

令和2(2020)年の販売農家戸数は5,219戸で、平成22(2010)年からの10年間に約35%減少しています。

※専兼別農家数は2020農林業センサスより廃止

販売農家戸数の推移

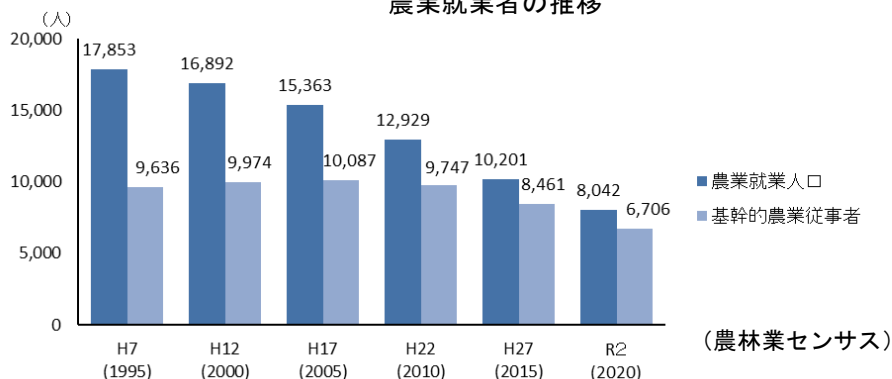


(農林業センサス)

(2) 基幹的農業従事者

令和2(2020)年における農業就業者数は8,042人で、平成22(2010)年から10年間で約38%減少しました。また、基幹的農業従事者についても、令和2(2020)年は6,706人となっており、10年間で約31%減少しています。

農業就業者の推移

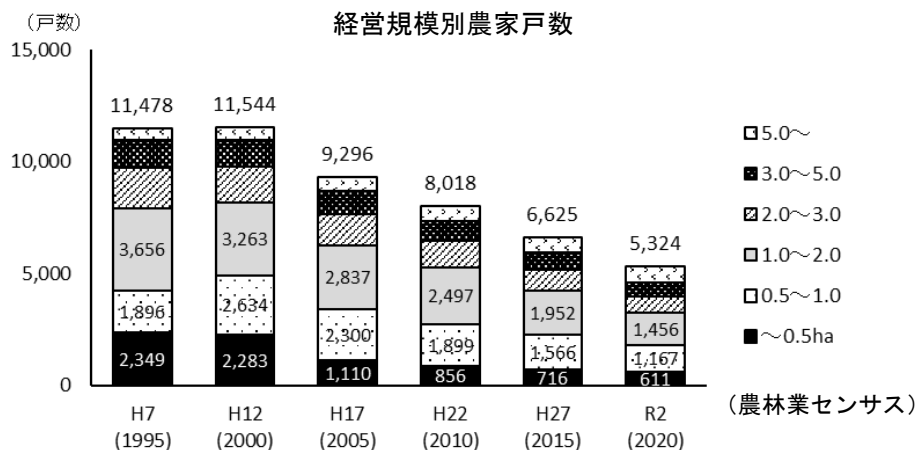


(農林業センサス)

※農業就業人口・・・2020年は年齢階層別の農業に60日以上従事した世帯員、役員・構成員(経営主を含む)数

(3) 経営規模別農家戸数

1戸当たりの経営規模は拡大傾向にあり、令和2(2020)年における5.0ha以上の大規模経営の農家数は734戸で、平成22(2010)年の659戸から10年間で約11%増加している一方、0.5ha未満の農家数は約15%減少しています。

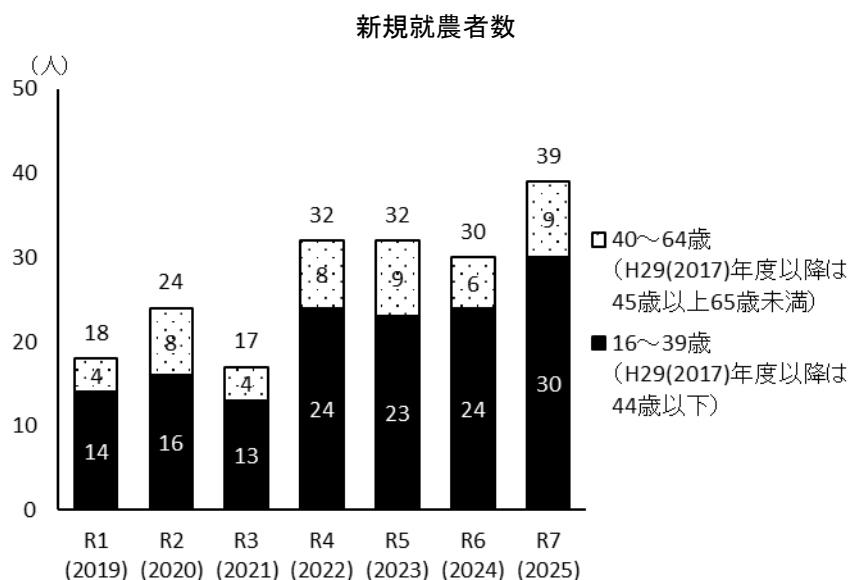


(農林業センサス)

(4) 新規就農者

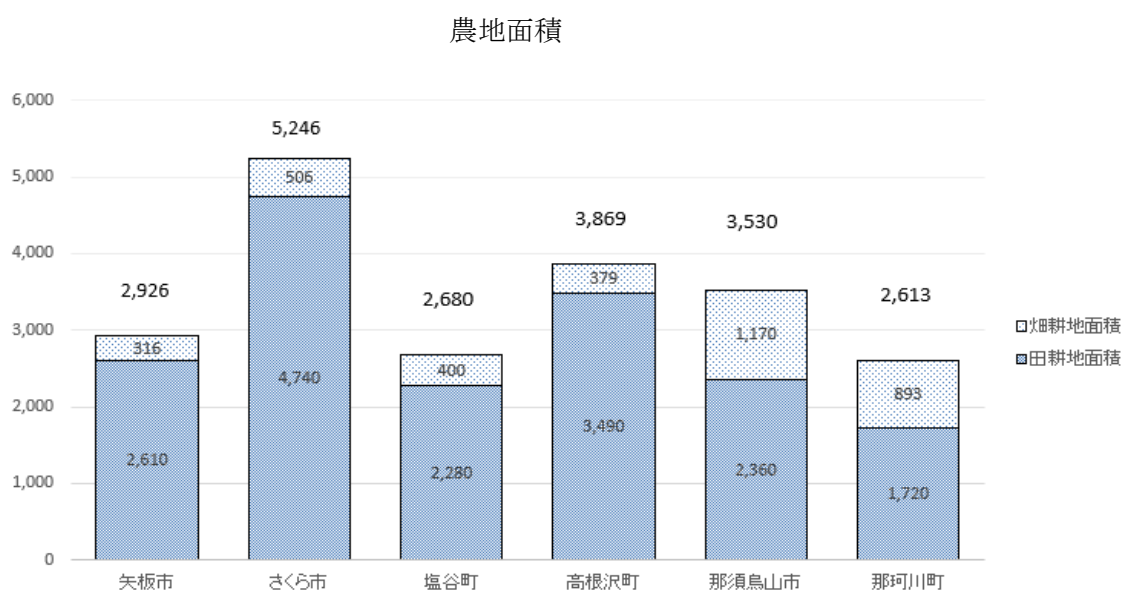
新たに農業に取り組む青年農業者（16～39歳、平成29(2017)年度以降は44歳以下）及び中高年（40～64歳、平成29(2017)年度以降は45歳以上65歳未満）の新規就農者は、令和7年度で39名となっており、若干の増減を繰り返しながらほぼ横ばいで推移しています。

令和7(2025)年度の新規就農者の経営志向作物は水稲部門が約25.6%、園芸部門が約61.5%、畜産部門が約14.7%でした。



(5) 農地面積

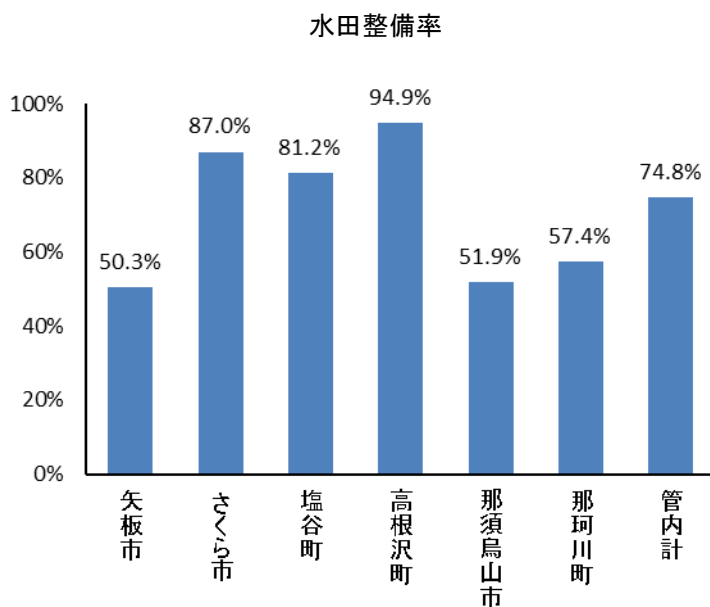
令和6(2024)年産の管内農地面積*は20,864haであり、県の約17.3%を占めています。また、管内の水田率は約82.4%となっています。



*農地面積＝田耕地面積＋畑耕地面積

(6) 水田の整備率

令和7(2025)年度の管内の水田整備率は74.8%でした。



※令和7(2025)年度実績については、集計が来年度になるため、見込み面積を記載しています

(7) 産出額

令和5年の管内農業産出額は米麦部門が126.4億円、園芸部門が98.9億円、畜産部門が182.5億円でした。

